

平成27年度
西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書
(平成26年度事業実績)

平成27年9月
西原町教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いましたので、ご報告いたします。

この報告書は、平成 21 年度から毎年作成し公表しておりますが、今後も報告書の内容充実に向け、町民に分かりやすいものにするために、必要な検討をしていきます。

西原町教育委員会としては、点検評価の実施を通じて、教育施策の検証と改善を図りながら、本町教育行政の着実な推進につなげていきたいと考えております。

平成27年9月

西原町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 教育委員会の活動について

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されており、5人の教育委員により組織され、その合議の下に、教育、文化、スポーツ等に関する教育行政の事務を行います。

通常の事務については、委員の中から選任された教育長を通じて執行管理を行いますが、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

西原町教育委員会では、毎月20日を基本に教育委員会の定例会を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、教育委員会の主催事業や町の行事、各種の研修会等にも積極的に参加しています。

平成26年度の委員の構成及び定例会・臨時会の開催状況並びに各種行事等への参加状況は次のとおりです。

(1) 委員の構成

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	勤続年数	
委員長	大濱 進	平成24年4月1日～平成28年3月31日	平成24年度	3年	委員長1年
委員長職務代理者	伊波 直	平成25年4月1日～平成29年3月31日	平成25年度	2年	
委員	前泊 加代子	平成23年4月1日～平成27年3月31日	平成23年度	4年	委員長2年
委員	金城 功恵	平成26年4月1日～平成30年3月31日	平成26年度	1年	
教育長	小橋川 明	平成25年4月1日～平成29年3月31日	平成25年度	2年	

(2)会議の開催状況

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第1回 臨時会	平成26年4月1日	西原町役場 教育長室	全委員(5人)	・議案第11号 教育委員長及び教育委員長職務代理者の選任について
第1回 定例会	平成26年4月21日	西原町役場内 会議室	大濱委員長 前泊委員 金城委員 小橋川教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第12号 「教科書採択の改善に向けた意向調査」について ・平成26年3月議会一般質問について ・西原町国指定史跡「内間御殿」保存管理計画の策定について ・西原町国指定「内間御殿」整備基本計画の策定について ・西原町教育委員会への提言について(要請) ・生徒指導(問題行動等)について ・中頭地区市町村教育委員会連合会平成26年度事業計画(案)について
第2回 定例会	平成26年5月20日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第13号 西原町町民交流センター管理規則について ・議案第14号 教育財産の取得の申出について ・議案第15号 尚円王生誕600周年記念事業検討会設置要綱について ・議案第16号 西原町教育委員会公印規則の一部を改正する規則について ・議案第17号 平成26年度西原町一般会計補正予算(第1号)について ・平成26年度教育部運営方針について ・平成26年度学校計画訪問実施要綱について
第3回 定例会	平成26年6月24日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第18号 西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・平成26年6月議会一般質問について ・脳脊髄液減少症の治療推進及び支援対策を求める要望書について ・生徒指導(問題行動等)について ・平成26年度(平成25年度分)西原町教育委員会事務事業の点検・評価の概要について ・第59回沖縄県市町村教育委員会連合会研修会報告について

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第4回 定例会	平成26年7月23日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第19号 平成27年度以降使用小学校教科用図書の採択について ・大雨特別警報発令に伴う対応について(報告) ・生徒指導(問題行動等)について
第2回 臨時会	平成26年8月1日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育庁職員の児童買春事件被疑者の検挙について
第5回 定例会	平成26年8月20日	西原町役場内 会議室	大濱委員長 前泊委員 金城委員 小橋川教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第20号 平成26年度西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について ・平成26年度学校訪問について ・生徒指導(問題行動等)について
第6回 定例会	平成26年9月19日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第21号 西原町町民交流センター管理規則の一部を改正する規則について ・議案第22号 西原町学校災害医療費等資金貸付支援条例について ・議案第23号 西原町尚円王生誕600年記念事業検討会設置要綱の一部を改正する要綱について ・議案第24号 平成26年度西原町一般会計補正予算(第2号)について ・議案第25号 西原南幼稚園園舎新增築工事について ・全国学力調査の結果について ・平成26年度沖縄県市町村教育委員研修会の開催について ・中頭地区市町村教育委員会連合会講演会に関するアンケートについて ・平成27年度研修会における分科会協議題案の提出について ・平成28年度文教施策とその予算措置に関する要請事項の提出について
第7回 定例会	平成26年10月21日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第26号 西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・平成26年9月議会一般質問について ・生徒指導(問題行動等)について ・平成26年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)参加報告について

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第8回 定例会	平成26年11月20日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第27号 平成26年度西原町一般会計補正予算(第3号)について ・議案第28号 平成26年度西原町一般会計補正予算(第4号)について ・動産の取得について ・西原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について ・生徒指導(問題行動等)について ・平成27年西原町成人式開催の役割について ・教育委員会制度改革にともなうアンケートについて ・委員会への出席について
第9回 定例会	平成26年12月19日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第29号 平成27年度西原町一般会計予算について ・平成26年12月議会一般質問について ・生徒指導(問題行動等)について
第10回 定例会	平成27年1月20日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成27年度 西原町教育委員会教育施策について ・教育の日の授業参観について ・生徒指導(問題行動等)について ・平成26年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会について
第3回 臨時会	平成27年2月25日	西原町役場内 会議室	大濱委員長 前泊委員 金城委員 小橋川教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第2号 平成27年度人事異動(学校管理職)の内示について

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第11回 定例会	平成27年2月26日	西原町役場内 会議室	大濱委員長 前泊委員 金城委員 小橋川教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第3号 西原町歴史文化基本構想策定委員会設置規則について ・議案第4号 西原町附属機関の設定に関する条例の一部を改正する条例について ・議案第5号 西原町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について ・議案第6号 西原町立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部を改正する条例について ・議案第7号 西原町教育長給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例について ・議案第8号 西原町教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例について ・議案第9号 西原町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について ・議案第10号 西原町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について ・議案第11号 西原町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ・議案第12号 西原町表彰条例の一部を改正する条例について ・議案第13号 西原町職員定数条例の一部を改正する条例について ・議案第14号 西原町議会委員会条例の一部を改正する条例について ・議案第15号 平成26年度西原町一般会計補正予算(第5号)について ・議案第16号 平成27年度人事異動(事務局管理職)について ・議案第17号 工事請負契約変更について(西原南幼稚園園舎新增築工事)
第4回 臨時会	平成27年3月12日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第18号 学校用地取得費補助金に係る財産処分について ・脳脊髄液減少症の問題について ・教育委員の選任について

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第12回 定例会	平成27年3月25日	西原町役場内 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第19号 西原町教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則について ・議案第20号 西原町教育委員会会議規則の一部を改正する規則について ・議案第21号 西原町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について ・議案第22号 西原町教育委員会公印規則の一部を改正する規則について ・議案第23号 西原町教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について ・議案第24号 西原町教育委員会事務局組織及び事務分掌に関する規則の一部を改正する規則について ・議案第25号 西原町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について ・議案第26号 西原町立幼稚園保育料徴収条例施行規則について ・議案第27号 西原町立幼稚園保育料等の減免に関する規則を廃止する規則について ・議案第28号 西原町立幼稚園預かり保育事業運営管理規則の一部を改正する規則について ・議案第29号 西原町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則について ・議案第30号 西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・議案第31号 教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程の一部を改正する規程について ・議案第32号 西原町教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について ・議案第33号 東日本大震災等に伴う被災者世帯等に係る幼稚園入園料及び保育料の減免取扱規程の一部を改正する規程について ・議案第34号 西原町学校給食費等滞納整理嘱託員に関する規程の一部を改正する規程について ・議案第35号 西原町ホールプランナー嘱託員に関する規程について ・議案第36号 西原町教育委員会の事務事業の点検及び評価実施要綱の一部を改正する要綱について ・議案第37号 西原町立幼稚園特別支援教育実施要綱の一部を改正する要綱について

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
				<ul style="list-style-type: none"> ・議案第38号 西原町伊是名村交流事業補助金交付要綱について ・町立図書館長の再任について ・人事異動(事務局職員)について ・平成27年3月議会一般質問について ・生徒指導(問題行動等)について ・平成27年度 学校行事参加 教育委員等の割当てについて ・平成27年度 交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動の割当てについて ・平成27年3月～4月にかけての当面の日程について ・中頭地区市町村教育委員会連合会平成27年度事業計画について

定例会を12回、臨時会を4回開催しました。

(3)教育委員の活動状況

内容	件数
主催・学校行事等	35件
学校訪問	5件
教育委員会連合会関係	6件
勉強会	12件
その他の活動	21件

上記のほか、小橋川明教育長が西原町人材育成会事務局長、西原町租税教育推進協議会代表幹事、西原町体育協会副会長、沖縄県町村教育長会地区幹事、中頭地区市町村教育長会会長を、大濱進委員長が中頭地区市町村教育委員会連合会理事、西原町人材育成会副会長、西原町交通安全推進協議会副会長を務め、関連行事に参加しました。

2. 教育委員会の活動に対する評価

沖縄県教育委員会連合会等が主催する研修会に参加し、教育委員としての資質向上に努め、定例会開催の前には勉強会を持ち、情報収集、意見交換を行い、教育行政に関する重要な決定を適正に行えるように努めています。

学校訪問をはじめ、学校行事や町の各種行事にも多数参加し、教職員、児童生徒、運営実行者、参加者を激励することができました。毎月はじめに行う交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に参加し、登校する児童生徒に声をかけ、子ども達と直接ふれあい、顔の見える活動を心がけています。

また、町内教育関係者として西原町青少年健全育成協議会や西原町人材育成会、西原町交通安全推進協議会等の役員を担い、教育行政の推進に努めました。

有識者会議からは、各行事等への委員の参加状況や会議の改善などをみると、積極的に活動しているとの評価をいただきました。

3. 事務事業の点検評価について

事務事業の点検評価にあたっては、西原町まちづくり基本条例第4条第1項「平和で人間性豊かなまちづくり」に位置付けられる事業のうち、重要と思われる14事業を抽出して行いました。

具体的な方法としては、初めに、各事業ごとに「主な事業の概要・目標」「取組み内容と成果」「課題」をまとめた評価シートを担当課にて作成し、内部評価を行いました。次に、有識者会議を開催し、各事業ごとにヒアリングを行い、ご意見を聴取しました。最後に、有識者からのご意見を踏まえた上で、教育委員会が点検及び評価を行い、報告書をまとめました。

なお、評価の基準については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

- A: 目標が達成できた。
- B: 目標が概ね達成できた。
- C: 目標が一部しか達成できなかった。
- D: 目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成26年度の結果は次のとおりです。

平成26年度教育委員会事務事業評価シート
(学校教育の充実)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
1	事務局運営事業 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員は、町立小中学校に在籍する教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒等に対し、学習活動や学校生活の支援等を行う。 ・年度当初の学校訪問や必要に応じての支援訪問を実施し、学校課題の対策への支援指導助言に努める。 ・校長・教頭会や教務主任・学推主任・研究主任等のミドルリーダーの研修会や各主任の研修会の開催を通して学校運営の支援や指導助言に努める。 ・校内研修の全体会や学年会へ参加し、教員の授業力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、教育上特別な配慮が必要な児童生徒は増えてきている。その中でもいろいろな手立てを講じたにもかかわらず、学級運営に著しい困難をきたしている場合に限り、学校からの申請に基づき町教育委員会において審査・決定し、特別支援教育支援員を派遣している。 ・特別支援教育支援員を小学校14人、中学校5人配置したことで、個々の教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導を支援することができた。また、継続して支援員がつくことで、多動で対応困難をきたしていた児童の安定を維持することができている。 ・各校の訪問を5月～7月上旬までに実施し、学校運営の説明や授業参観・給食交流会を通して学校の成果と課題を共通理解し、指導助言を行うことができた。 ・年間55回の各種研修会・協議会や4月～5月の校内研修の理論研修会を通して町教育委員会の施策の周知と徹底を図ることができた。 ・各学校の校内研修(全体会・学年会)に参加し、授業作りや教師の授業力向上に努めた(年間60回) ・平成26年度の全国学力学習状況調査において、小学校は全国平均を上回り、中学校においても国語が全国並みとなった。前年度よりもさらに学力が向上した。 ・学習支援員を中心に放課後の補習や春休み・夏休みの補習を実施したことにより各学校の基礎基本の定着が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員については、一括交付金対象事業として、学校へ配置している学習支援員と支援内容が重なる部分を明確にし、配置する必要がある。 ・特別支援教育支援員の資質の向上に向け研修を継続する。 ・児童生徒のある一定程度の基礎基本の定着は図れたが、活用力・思考力の育成については、課題があり、授業の改善を図りたい。 ・達成が十分でない児童生徒への支援が必要であり、補習の時間を確保し、効果的に指導していくことが望まれる。 ・中学校においては、特に国語・数学・英語を専門とする学習支援員を配置したいが、確保が難しい。 ・授業力を高め思考力・活用力の育成を図る必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動や学校生活等の支援を必要とする児童生徒への支援体制、資質向上に向け、概ね構築されてきている。 ・学校訪問・各種協議会、研修会を通して学習指導要領の完全実施や町の施策を推進することができた。

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
2	町立小学校運営事業 (教育総務課)	・各小学校の施設の適切な維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の施設設備の保守点検、修繕、工事等を行い、教育環境の改善に努めた。 【施設の修繕】 4校分 7,001千円 【保守点検等委託料】 4校分 15,836千円 【使用料及び賃借料】 4校分 3,143千円 【施設・設備工事】 17,468千円 ・空調機設置工事(坂田小・西原東小) ・電話設備取替工事(西原小) ・臨時受変電設備工事(坂田小) 【公有財産購入】 6,381千円 ・用地購入(西原東小) ※賃貸用地分 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化する学校施設の安全性を確保するには適切な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 ・夏場の暑さ対策として空調設備の導入を進めているが、一部設置されていない教室があるので、早急な整備を図る必要がある。 	B	・老朽化する校舎を抱えているため、修繕改修や調査業務に取り組み、児童の安全安心な教育環境の整備に努めた。
3	町立中学校運営事業 (教育総務課)	・各中学校の施設の適切な維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校の施設設備の保守点検、修繕、工事等を行い、教育環境の改善に努めた。 【施設の修繕】 2校分 6,670千円 【保守点検等委託料】 2校分 8,790千円 【施設・設備工事】 749千円 ・運動場散水設備工事(西原中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化する学校施設の安全性を確保するには適切な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 ・運動場の砂埃対策として西原中学校に散水設備を1基設置したが充分ではないので、さらに対策を強化する必要がある。 	B	・老朽化する校舎を抱えているため、修繕改修や調査業務に取り組み、生徒の安全安心な教育環境の整備に努めた。

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等												
4	教育情報化支援事業 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上を図るため、一括交付金を活用し、各小中学校に電子黒板やデジタル教科書等の ICT 環境を整備し、より魅力的で、わかる授業を実現できる環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、各小中学校に電子黒板及び専用パソコン、指導者用タブレットを導入した。 (電子黒板台数) <table border="1" data-bbox="815 336 1263 483"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26 導入台数</td> <td>71</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H25 導入台数</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計台数</td> <td>91</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> ※設置教室:普通教室、理科室、少人数教室、特別支援教室 電子黒板のより効果的な活用をめざし、全教職員を対象に町情報教育研修会を実施した。各学校で日常的・組織的に実施していることを具体的に学び、それぞれの授業に生かすことができた。 		小学校	中学校	H26 導入台数	71	25	H25 導入台数	20	17	合計台数	91	42	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器の増加により、機器障害発生件数、ICT 機器活用支援の相談件数が増えている。ICT機器トラブルや操作支援、ICT を活用した授業づくりの支援など、ICT 活用授業が円滑に行われるためのサポート体制の強化が必要である。 小学校は、平成 27 年度に教科書改訂により使用教科書の変更がある。教科書に沿った ICT 活用授業の継続実施のため、新教科書に対応したデジタル教科書の購入が必要である。 電子黒板とデジタル教科書の活用は日常的になったが、タブレットはまだ活用方法に広がりが少ないため、研修をする必要がある。 各小中学校への ICT 支援員の派遣を計画していたが、前段の電子黒板整備完了までに想定以上の期間を要してしまい、残りの事業期間内での ICT 支援員の配置が困難となり、未実施となった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校 ICT 環境の強化と活用推進に取り組むことができた。 情報教育や教科指導における ICT 活用を充実させ、児童生徒の学力・情報活用能力の向上を図ることができた。
	小学校	中学校																
H26 導入台数	71	25																
H25 導入台数	20	17																
合計台数	91	42																

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																																							
5	中学生海外短期留学派遣事業(教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 中学生をアメリカシアトルに派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応する生徒の育成を図る。 	<p>【取組み及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から中学生全学年を対象とした事業となった。 町内中学生8人を派遣(内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>西原 中学校</th> <th>西原東 中学校</th> <th>琉大附属 中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1年生</td> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年生</td> <td>男</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年生</td> <td>男</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成26年7月25日～8月23日までの約1ヵ月間アメリカシアトルへ留学し、現地の方々との交流や視察学習を通して、国際社会を学ぶことができた。</p> <p>・10月に帰国報告会を行い、生徒一人一人がパワーポイントで留学の経験や思い出を報告し、親への感謝を伝えた。</p> <p>・町の英語フェスティバルでは、小中学生に対して留学での体験を報告した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本町の交流事業は、中学生にとって、将来の進路について考え、沖縄や日本だけでなく国際的な考え方を育てるような国際社会に役立つ人材を育てる事業となっている。 			西原 中学校	西原東 中学校	琉大附属 中学校	合計	1年生	男	0	0	0	0	女	0	0	0	0	2年生	男	2	0	0	2	女	0	1	1	2	3年生	男	0	1	0	1	女	0	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> 今後は生徒一人一人に留学へ行く前にアンケート調査を行い、留学で何をしたいのか、何を学びたいのかなど、目標を明確にさせる必要がある。 帰国した際には再度アンケート調査を行い、目標をどれだけ達成できたのか、留学前と留学後の意識の違いを感じる事ができるように、アンケートをとる必要がある。 今後は、何年後かに留学生の進学先等の追跡調査を行うことも必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 前年度のハワイからシアトルに場所を変更したことによって、留学期間も延び、本国ということでより本場の国際的な感覚を養うことに繋がる事業となっている。 英語フェスティバルを通して、小中学生に事業の体験を伝えることにより、他の生徒へ海外の素晴らしさを伝えることができた。
		西原 中学校	西原東 中学校	琉大附属 中学校	合計																																								
1年生	男	0	0	0	0																																								
	女	0	0	0	0																																								
2年生	男	2	0	0	2																																								
	女	0	1	1	2																																								
3年生	男	0	1	0	1																																								
	女	0	2	1	3																																								

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等				
6	学習支援員等派遣事業 (教育総務課)	・学習支援を要する児童生徒への個に応じた支援を通して、学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を小学校4校に2人ずつ、中学校2校に3人ずつ配置したことで、平成26年度の全国学力学習状況調査において、小学校は全国平均を上回り、中学校において国語が全国並みとなった。 ・支援員による授業中の個別指導や放課後の補習、春休み・夏休みの補習を実施したことにより各学校の基礎基本の定着が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成が十分でなく個別指導を要する児童生徒の学習の定着を図るため、更に支援員の増員が必要である。 ・中学校においては、特に国語・数学・英語を専門とする支援員を配置したいが、確保が難しい。 ・活用問題や発展問題のような思考を伴う問題には難がある。思考力の育成が望まれる。 	B	・基礎基本の定着が図られた。				
7	児童生徒の派遣費助成事業 (教育総務課)	・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、一括交付金を活用し、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、派遣費用の助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の小中高校生が沖縄県を代表して県外大会へ派遣される場合に要する経費(航空賃、船賃、宿泊費)を、県大会の成績に応じて、助成する。 <p>【補助割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 優勝 100%以内 準優勝 80%以内 3位 70%以内 宿泊費 1泊 5,000円 <p>※限度額: 国内1人 50,000円 国外1人 100,000円</p> <p>【派遣費助成実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣費総額 (一括交付金補助額)</th> <th>派遣人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,372,000円 (1,978,000円)</td> <td>149人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※一括交付金補助対象経費: 航空運賃×1/2×80%</p>	派遣費総額 (一括交付金補助額)	派遣人数	5,372,000円 (1,978,000円)	149人	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県代表となった大会等の成績に応じて補助率を決定している。しかし、大会の成績に関係なく一律に補助ができないか検討してほしいとの声がある。 	B	・県外へ派遣される小中高校生の保護者に対し、経済的負担を軽減することができた。
派遣費総額 (一括交付金補助額)	派遣人数									
5,372,000円 (1,978,000円)	149人									

(学校給食共同調理場の充実・強化)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
8	学校給食共同調理場事務運営事業 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な給食の献立、調理及び運搬を行うため職員指導、啓発に努め、衛生意識の向上を図る。 給食費の徴収率のアップを図る。 施設の整備を図る。 地産地消を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度より滞納整理嘱託員を採用し、学校給食費の滞納額の解消を図るため、電話催告、戸別訪問等で納付を促し、生活困窮世帯については生活保護申請や準要保護申請を促している。 平成 26 年度の給食費の徴収率は 98.27%で前年度比 0.81 ポイント向上した。 公共下水道接続工事及びオゾン発生装置設置により合併浄化槽を廃槽した。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食費の滞納者には、町債権管理条例に基づき、徴収強化に努める必要がある。 施設の老朽化対策と設備の整備、備品の充実が必要である。 地産地消については現在、JAを通して発注しているが、賄える量がまだまだ少ない状況なので、今後、町地産地消担当課と連携しながら地場産物が増産できるような体制づくりを求めていく必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 滞納整理嘱託員を採用した結果、給食費の徴収率のアップにつながった。

(生涯学習課の振興)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
9	公民館運営事業 (生涯学習課)	<p>・各種講座や学級を開設し、町民の生涯学習に寄与する。</p>	<p>町民や親子を対象とした講座等を 113 回開催し、延べ 1,993 人が参加した。</p> <p>【公民館講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきシニア講座文教大学・平和月間講座 ・夏休み講座 (KID'Sえいご講座・HIPHOPダンス・宇宙の学校) ・LET'Sズンバダンス講座 ・環境アートとファッション講座 ・しまくとぅば講師養成講座 ・子どもしまくとぅば講座 ・指導者対象しまくとぅば講座 ・うちな一芝居講座 ・男性講座 ・女性講座 ・AED講習会 <p>【その他公民館事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西原町平和月間「戦争写真・遺品展」 ・子どもしまくとぅば講座成果発表会 ・うちな一芝居講座成果発表会 ・「うちな一芝居「あむとぅぬしちゃ」の上演 ・自治公民館移動講座(5自治会) 	<p>公民館講座は生涯学習のきっかけを作る場として考えており、入門講座として位置付けている。現在、公民館のサークルは 38 団体が活動しているが年々会員数が減っているため、今後どのように増やすかが課題である。そのためには以下のことに取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の充実強化を図るため、町民のニーズ・興味にあった講座を開催する。 ・広報活動を通して、利用者の拡大を図る。(各種団体への周知徹底) ・魅力ある講師の確保を図る。 ・学習の成果発表の場、学習した成果を還元する場の充実を図る。 	B	<p>一括交付金を活用して子どもしまくとぅば講座・うちな一芝居講座を開催し、その成果の発表とうちな一芝居の上演を行うことにより地域住民にしまくとぅばの推進・継承・普及活動を実施することができた。</p>

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																								
10	図書館事務運営事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を快適な状態で利用できるような空間と環境をつくる。 ・開館 10 周年の節目に公共図書館としての役割、使命を再認識する。 ・利用者のニーズに応じた資料、企画展、定期行事、講座、講(公)演会等の充実を図り、多くの町民が利用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館 10 周年(平成 16 年 8 月 20 日開館)を迎え、図書館行事をとおして町民や利用者、ボランティアと共に祝い、感謝の気持ちを伝える一年間とすることを全職員で確認しスタートした。 <p>【開館日数・貸出冊数等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日</td> <td>274 日</td> <td>273 日</td> </tr> <tr> <td>入館者</td> <td>146,566 人</td> <td>145,908 人</td> </tr> <tr> <td>1 日あたり入館者数</td> <td>535 人</td> <td>535 人</td> </tr> <tr> <td>登録者数(新規・更新)</td> <td>7,296 人</td> <td>7,893 人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>200,993 冊</td> <td>212,300 冊</td> </tr> <tr> <td>1 日あたり貸出冊数</td> <td>734 冊</td> <td>778 冊</td> </tr> <tr> <td>レファレンス業務 (図書、資料等の相談業務)</td> <td>2,893 件</td> <td>3,718 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館 10 周年記念講(公)演会 3 回開催 370 人参加 6/14「平和講演会」スーパーガイドの崎原真弓氏を招き、沖縄戦をはじめ沖縄の歴史、肝グクル等の講演を開催。 8/24「あきやまただし絵本ライブ」今、大人気の絵本作家で町内外から大勢の親子が参加。 10/25「ゆうりきや～のゆんたくライブ」城間祐司氏が町内在住者であることから図書館利用者としての裏話や諺を使っておもしろいコントで場を沸かせた。 ・図書館講座 2 回開催 30 人参加 ・作品展 2 回開催 		平成 26 年度	平成 25 年度	開館日	274 日	273 日	入館者	146,566 人	145,908 人	1 日あたり入館者数	535 人	535 人	登録者数(新規・更新)	7,296 人	7,893 人	貸出冊数	200,993 冊	212,300 冊	1 日あたり貸出冊数	734 冊	778 冊	レファレンス業務 (図書、資料等の相談業務)	2,893 件	3,718 件	<ul style="list-style-type: none"> ・講(公)演会等の参加者を利用者登録、貸出点数につなげる必要がある。 ・来館したことのない町民への情報発信と登録、利用の推進の方法を検討する必要がある。 ・カウンター業務(レファレンスなど)を充実させるために研修等の時間を確保する必要がある。 ・毎月の定期行事の内容を工夫する必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・開館 10 周年記念講演会を開催したことにより、町民、町外の方々に図書館の役割や情報を発信することができたので、当該事業においては目標を達成することができた。 ・講演会と閲覧室(企画展)を関連付けるテーマにすることで、入館者数が増加した。
	平成 26 年度	平成 25 年度																												
開館日	274 日	273 日																												
入館者	146,566 人	145,908 人																												
1 日あたり入館者数	535 人	535 人																												
登録者数(新規・更新)	7,296 人	7,893 人																												
貸出冊数	200,993 冊	212,300 冊																												
1 日あたり貸出冊数	734 冊	778 冊																												
レファレンス業務 (図書、資料等の相談業務)	2,893 件	3,718 件																												

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
			<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 17 回開催 211 人参加 ・上映会 21 回開催 391 人参加 ・紙芝居 24 回開催 282 人参加 ・英語DEあそぼう 9 回開催 73 人参加 【後援事業】 ・あっとーめーのささやき・喜楽星のたまたま箱 2 回開催 110 人参加 ・図書館講座 5 回開催 88 人参加 ・作品展(個人、団体) 3 回開催 ・移動児童館 1 回開催 70 人参加 			

(スポーツ・レクリエーション活動の推進)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
11	保健体育事務 運営事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育に関する事業について、国・県・各種団体等と連携し、全般的な事務事業を行う。 ・体育協会等のスポーツ団体に補助金を交付して、成人、少年等の各種スポーツの競技力向上と底辺拡大を支援する。 	<p>【財政援助団体への補助金交付状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ少年団 360,000 円 (活動:野球、空手、バレーボール大会の開催・参加) ・町体育協会 5,500,000 円 (活動:町民陸上競技大会・各種球技大会開催) ・バレーボール協会 500,000 円 (活動:バレーボール祭り、教室等の開催) ・町ゲートボール連合会 500,000 円 (活動:毎月定例大会の開催) <p>・各種スポーツ団体が開催する区対抗の大会、クラブチーム大会等により地域の活性化、町民の健康増進に寄与している。特にバレーボール、なぎなた、空手の競技における県内外での活躍は、大きな成果である。</p> <p>【プロサッカー等のキャンプ誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝管理用機材の整備及びプロサッカーチームへの誘致活動を実施した。 ・Jリーグ10チームの現地視察、中国の1チームの間合わせがあったが、芝の状態への指摘や日程上の調整がつかず県外・国外チームのキャンプ誘致には至らなかった。 ・キャンプ、大会実績としては、沖縄のJリーグチームFC琉球、U-18 サッカー女子台湾代表や早稲田大学中距離競争部などがある。 ・元日本代表の北沢豪さんのサッカー教室が行われ、サッカー専門誌に取り上げられ本町競技場のPRになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民参加型のスポーツイベントが開催される一方、若年層のスポーツ離れの傾向もうかがえることから、各種スポーツの指導者育成等の検討も必要である。 ・プロサッカー等のキャンプ誘致については、受入れ可能な施設の環境整備(特に芝の管理、競技場周フェンス)が重要であるため、管理体制の強化が必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体へ補助金を交付し、各種団体等への支援を行うことができた。 ・県外・国外のプロサッカーチームのキャンプ誘致には至らなかったが、大学陸上部・サッカー部の合宿や台湾女子サッカーU-18代表のキャンプが行われた。

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果					課題	評価	評価説明等
			【キャンプ等実績】							
				名称	日程	競技名	場所			
			1	第93回全国高校サッカー選手権大会 沖縄県大会決勝戦	H26.11.15	サッカー	陸上競技場			
			2	U-18 チャイニーズタイペイ女子代表	H26.11.28~29	サッカー	陸上競技場			
			3	沖縄県ジュニア8人制サッカー(U-12)	H26.12.13	サッカー	陸上競技場			
			4	韓国小学生VS西原町内小学生 生選抜チーム練習試合	H27.1.15~	サッカー	東崎公園			
			5	元日本代表北澤豪サッカー教室	H27.1.11	サッカー	陸上競技場			
			6	FC琉球キャンプ	H27.1.26~2.2	サッカー	陸上競技場			
			7	九州新人高校サッカー大会	H27.2.13~2.16	サッカー	陸上競技場・東崎公園			
			8	追手門大学女子サッカー部	H27.3	サッカー	陸上競技場			
			9	早稲田大学競争部(中距離)	H27.2.27~3.7	陸上競技	陸上競技場			
			10	筑紫女学園大学	H27.3.20~	ラクロス	陸上競技場			

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																				
			<p>【プロチーム陸上競技場視察一覧】</p> <table border="1" data-bbox="788 217 1279 711"> <tr><td>1</td><td>浦和レッドダイヤモンド</td></tr> <tr><td>2</td><td>ジェフユナイテッド市原千葉</td></tr> <tr><td>3</td><td>ジュビロ磐田</td></tr> <tr><td>4</td><td>川崎フロンターレ</td></tr> <tr><td>5</td><td>横浜Fマリノス</td></tr> <tr><td>6</td><td>ヴィセル神戸</td></tr> <tr><td>7</td><td>徳島ヴォルティス</td></tr> <tr><td>8</td><td>水戸ホーリーホック</td></tr> <tr><td>9</td><td>FC岐阜</td></tr> <tr><td>10</td><td>Vファーレン長崎</td></tr> </table> <p>※電話問合せ:杭州绿城(中国)</p>	1	浦和レッドダイヤモンド	2	ジェフユナイテッド市原千葉	3	ジュビロ磐田	4	川崎フロンターレ	5	横浜Fマリノス	6	ヴィセル神戸	7	徳島ヴォルティス	8	水戸ホーリーホック	9	FC岐阜	10	Vファーレン長崎			
1	浦和レッドダイヤモンド																									
2	ジェフユナイテッド市原千葉																									
3	ジュビロ磐田																									
4	川崎フロンターレ																									
5	横浜Fマリノス																									
6	ヴィセル神戸																									
7	徳島ヴォルティス																									
8	水戸ホーリーホック																									
9	FC岐阜																									
10	Vファーレン長崎																									

(文化事業の推進)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
12	尚円王誕生 600年記念事業 (生涯学習課)	<p>・平成 27 年度は、尚円王誕生 600 年を迎えることから、一括交付金を活用した記念事業を行う。大きな記念事業を実施することにより「内間御殿」や町内の地域資源の周知につながるるとともに、それらを活用した今後の観光振興にも役立てる。</p> <p>・尚円王誕生の地と伝わる伊是名村では、独自に尚円王誕生の記念事業を計画しており、西原町も伊是名村との交流を通して、ともに尚円王を活かした事業を展開していく。</p>	<p>1 尚円王誕生 600 年記念事業検討会の開催</p> <p>(1)第1回 日 時:平成26年 8月26日(火) 15:00～17:00 場 所:西原町立図書館2階集会室 議 案:委嘱状交付・会長互選/記念事業計画、スケジュールについて</p> <p>(2)第2回 日 時:平成26年11月13日(木) 15:00～17:00 場 所:西原町立図書館2階集会室 議 案:記念事業計画、スケジュールについて</p> <p>(3)第3回 日 時:平成27年 3月 3日(火) 15:00～17:00 場 所:西原町立図書館2階集会室 議 案:記念事業計画、スケジュールについて</p> <p>2 伊是名村民史劇「尚円王」 ～松金がゆく～上演会(共催事業) 日 時:平成27年 3月22日(日) 14:00～ 16:00～ 場 所:さわふじ未来ホール</p> <p>【成果】 ・事業では、尚円王にスポットをあて、町民ひいては沖縄県</p>	<p>・町教育委員会主催記念事業として、町商工会、町文化協会や西原まつり実行委員会との連携・協力を要する。</p>	A	<p>・全体的なスケジュールをたてることができ、プレイベントとしての伊是名村との交流事業が開催できた。</p>

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
			<p>民に尚円王を中心とした歴史や文化等に対する愛着・誇りを育むと同時に、「内間御殿」などの地域資源を活用した内容の事業計画およびスケジュールを作成することができた。</p> <p>・伊是名村との交流事業として2回の上演会を開催したが、大勢の観客が来場し、尚円王と伊是名、西原の関係を周知することができた。</p>			

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
13	内間御殿整備事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 本町の代表的な文化財(国指定史跡)である内間御殿を後世に残していくために復元・整備を行い、町の貴重な歴史・教育・観光等の資源として活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 1月26日の「文化財防火デー」に合わせて内間御殿の防火訓練を開催(東部消防組合と共催)した。訓練は地域(嘉手苅)住民を中心に行った。 西原町国指定史跡「内間御殿」整備委員会を3回開催した。委員会で検討した当該年度の磁気探査・整備工事・発掘調査等は、着手前に地域(嘉手苅区民対象)説明会を行った上で実施した。 発掘調査期間中には、嘉手苅区民を対象とした現地説明会(発掘調査の成果等の説明)を開催した。 <p>【委託・工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「内間御殿敷地内磁気探査業務委託」 発掘調査前に磁気探査を実施。不発弾破片(信管)が2点確認された(自衛隊により回収済み)。 「東江御殿敷地内事前遺構確認調査支援業務委託」 当調査では、今後内間御殿を整備する上で必要と考えられる情報や資料(遺物等)を得ることができた。 「内間御殿保存修理工事設計・監理業務委託」 整備委員会での意見・指摘内容を組み込んだ設計を行った。 「内間御殿保存修理工事」 文化財保護及び地域住民の安全対策を目的とした工事を実施した。 これらの内容は、整備委員会で報告した。また、整備委員会では、次年度の整備事業の内容についても審議した。 	<ul style="list-style-type: none"> 内間御殿は平成25年度から整備工事、発掘調査等を行っているが、整備委員会での審議や発掘調査成果等の内容次第で、その都度、整備の内容や計画を変更(整備年数を含む)する必要があるため、慎重に時間をかけた審議が必要である。 史跡の復元整備を行う上で必要な発掘調査報告書(発掘調査成果を収めた報告書)を出すためにも、基礎資料の整理作業を進めていかなければならないが、図書館内での作業場所が限られていることから、まとまった人数配置ができず、整理作業に多くの時間がかかることが想定される。 次年(平成27年)度は、整理状況の様子をみながら、今後の資料整理について検討したい。 内間御殿の復元・整備は、これらの基礎データをまとめる時間と、整備委員会での審議を多く必要とするため、材料が揃った段階で復元・整備に着手する必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり執行できた。平成27年度も引き続き国庫補助金を申請どおり確保することができた。

町民交流センターの設置及び利活用の促進)

番号	事業名 (担当課)	主な事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																						
14	町民交流センター事務運営事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 貸館業務や自主事業公演を展開し、町民の文化・芸術活動の拠点となるよう推進していく。 多様な舞台演出に対応できるよう環境整備を図る。 	<p>【さわふじ未来ホール土日祝日利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土日祝日数</td> <td>77 日</td> </tr> <tr> <td>借用数</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>町内</td> <td>26 件</td> </tr> <tr> <td>町外</td> <td>11 件</td> </tr> <tr> <td>内部 (役場・教育委員会)</td> <td>18 件</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>71.43%</td> </tr> <tr> <td>町内割合</td> <td>47.27%</td> </tr> <tr> <td>町外割合</td> <td>20.00%</td> </tr> <tr> <td>内部割合 (役場・教育委員会)</td> <td>32.73%</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>24,080 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【平成 26 年度収入済額】 5,567,330 円</p> <p>【主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> こけら落とし公演 3 回開催 1,320 人来場 西原町青少年音楽祭 1 回開催 450 人来場 		平成 26 年度	土日祝日数	77 日	借用数	55 件	町内	26 件	町外	11 件	内部 (役場・教育委員会)	18 件	稼働率	71.43%	町内割合	47.27%	町外割合	20.00%	内部割合 (役場・教育委員会)	32.73%	来場者数	24,080 人	<ul style="list-style-type: none"> 初年度は 70%を超える土日祝日の稼働率を達成している。今後は多様な舞台演出に対応できるよう備品等の整備を図る必要がある。 ホールのPRを兼ね自主事業公演を展開し、利用件数・来場者の増を目指す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始初年度で稼働率 70%を達成できた。 自主公演事業において1,700人を超える来場者がありPRができた。 供用開始を計画的に対応できた。
	平成 26 年度																											
土日祝日数	77 日																											
借用数	55 件																											
町内	26 件																											
町外	11 件																											
内部 (役場・教育委員会)	18 件																											
稼働率	71.43%																											
町内割合	47.27%																											
町外割合	20.00%																											
内部割合 (役場・教育委員会)	32.73%																											
来場者数	24,080 人																											

4. 有識者の知見の活用について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第2項の規定では、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっています。西原町教育委員会では、教育に関して学識経験のある方3人で組織する「西原町教育委員会の事務事業の点検及び評価に関する有識者会議」を設置し、主要事業の管理及び執行等についてご意見をいただき、各事業の点検及び評価に反映させました。

有識者会議の委員及び主なご意見は次のとおりです。

(1)点検・評価に関する有識者会議委員名簿

氏名	任期	備考
田港 朝勝	平成27年7月16日～平成29年3月31日	元西原南小学校校長
大城 洋子	平成27年7月16日～平成29年3月31日	元西原町教育委員
大城 剛	平成27年7月16日～平成29年3月31日	元西原町PTA連合会会長

(2)有識者会議での主な意見

各課長等によるヒアリングを含め2回の有識者会議を開催し、事務事業の点検及び評価についてご意見をいただきました。

①事務事業の主な評価

ア 事業番号3(P11)について、西原中学校の散水設備は、上水設備で水道料金が膨れあがることが懸念されるため、今後、散水設備を増設していく場合は、地下水や雨水を利用することができないか検討してほしい。

イ 事業番号4(P12)について、電子黒板は、効果的に活用されているので、全学校の普通教室だけでなく、特別教室にも導入してほしい。

ウ 事業番号5(P13)について、中学生海外短期留学派遣事業について、留学した生徒の追跡調査を検討していることはよいことである。

エ 事業番号6(P14)について、指導主事 2 人制、学習支援員、特別支援教育支援員の配置により全国学力学習状況調査の結果が、小学校は全国平均を上回り、中学校は国語が全国並みになったという結果は、大変喜ばしいことである。また、今後の人材育成へつながっていくのではないかと期待している。

オ 事業番号8 (P15)について、学校給食共同調理場事務運営事業について、給食費の徴収率強化は評価できる。しかし、食材等の高騰もある中、給食の量は十分足りているのか、質はどうかを検討し、今後の給食費について考慮してほしい。

- カ 事業番号10(P17~18)について、図書館事務運営事業について、開館 10 周年事業を成功することができたことは素晴らしいことである。
- キ 事業番号13(P24)について、内間御殿整備事業について、今後の整備期間を考えると内間御殿等から出る遺物整理室は現状の広さでは対応が厳しいと考えられるので、遺物整備室の拡充を検討する必要がある。
- ク 事業番号14(P25)について、町民交流センター事務運営事業について、初年度の稼働率は評価できる。今後さらに稼働率をあげるためにも、自主事業等の開催を強化していくことで地域の活性化につながるのではないかと。

②その他の意見

- ア 西原中学校の 19 号棟については、「耐震性なし」との評価が出ているので、生徒の安全面を考えると早めの対応が必要である。また、その他の小中学校の校舎も老朽化を抱えているため、施設整備計画を検討する必要がある。
- イ 学校の危機管理については、地震・津波等の防災訓練は町内の学校だけでなく、地域も一体となって取り組めるように検討してほしい。
- ウ 不登校児童生徒が増加傾向にあるので、早めの対応・対策をとる必要がある。

等があり、これらを優先課題として取り組んでいただくよう要望があったほか、委員の豊富な経験から、事業改善に向けた詳しいアドバイスもいただきました。

各事業について、優先順位を決めて長期的に計画し、「文教のまち西原」にふさわしい取り組みをして欲しいとのご意見もいただきました。

結びに

教育委員と有識者委員の合同によるヒアリングを行い、各事業について積極的に質問し、教育委員会の事務事業の取り組み、課題を知ることができました。

有識者委員の皆様には、大変貴重なご意見をいただいたことに、感謝いたします。いただいたご意見、ご提言を真摯に受け止め、事業内容の充実、改善に役立てていく所存であります。

この点検評価も7回目となり、職員及び教育委員の意識も変わってきました。そして、目に見える形で報告することにより、職員は、P(Plan・計画)、D(Do・実行)、C(Check・評価)、A(Action・見直し)サイクルに沿って日々課題を意識し、担当業務をより合理的に実行するようになりました。

教育委員も、教育委員会の事務事業の管理及び執行状況について、責任を持って考え、現場へ適切な指導、助言を行うという意識も強くなりました。

今後も、関係機関との連携強化を図り、より良い教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。